

2017年2月28日

いすゞ、東アフリカ事業の取組みについて

-General Motors East Africa(GMEA)の株式取得-

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山正則、以下いすゞ)とゼネラルモーターズ・カンパニー(本社：米国デトロイト、CEO：メアリー・バーラ、以下「GM」)は、経済成長の続く東アフリカ市場において、いすゞが商用車の生産販売事業の拡充を図る目的でGM イーストアフリカ(General Motors East Africa、以下「GMEA」)に出資をすることで合意しました。

GMEA は、1975年の設立以来、40年にわたり、ケニア共和国ナイロビにて、いすゞブランドの小・中型のトラック・バスの生産販売、いすゞピックアップトラック・シボレー乗用車の輸入販売を行っています。2012年以降5年連続でマーケットリーダーとしてケニアの商用車市場を牽引しています。

いすゞは、GM が保有する GMEA の全株式 57.7% を取得し、同社を連結子会社化します。また、これに伴い 2017 年 4 月より、GMEA は、「ISUZU EAST AFRICA(仮)」に社名を変更する予定です。

いすゞは、今回の出資により、社員の研修・育成やいすゞの技術支援を通して更なる品質改善、車両の拡販を目指します。また、東アフリカでのアフターセールス体制の基盤強化に努めてまいります。

<新会社の概要>

会社名	いすゞイーストアフリカ(仮) ISUZU EAST AFRICA LIMITED
所在地	ケニア共和国 ナイロビ
代表者	リタ・カバシェ (社長)
主な事業株主	いすゞ：57.7%、ICDC：20%、 Centum Investments：17.8%、伊藤忠商事：4.5%
事業内容	いすゞトラック・バスの CKD 生産販売、いすゞピックアップトラックの輸入販売、部品供給、サービス提供
資本金	KES 31 mil (約 3 千万円)

以上